

投稿記事目録

1 閲覧用 URL

<https://twitter.com/dappi2019/status/1320137349733306368>

2 投稿日時

令和2年10月25日午前7時57分

3 投稿内容

門田隆将「朝日や毎日自殺した近財職員の元上司が『改竄はやるべきでないが野党から追い詰められ少しでも作業量を減らす為にやった』という音声部分はカットし事実と真逆の報道。近財職員は **B** や **A** が1時間吊るしあげた翌日に自殺」

左派メディアは野党に都合が悪いことは報じない

(画像内の文章)

「【新聞に喝！】事実とは“真逆”の報道 作家・ジャーナリスト・門田隆将

啞然（あぜん）とする新聞の印象操作は当欄で何度も取り上げてきた。そこに新たな1頁が加わったのでご紹介したい。

14日、森友文書改竄（かいざん）問題で自殺に追い込まれたとされる財務省近畿財務局職員の妻が上司の音声データを大阪地裁に提出した。職員の死後、上司が妻に語った音声だ。

「あの売り払いをしたのは僕です。国の瑕疵（かし）が原因で小学校が開設できなかつたら損害額が膨大になることを考えたときに相手に一定の価格、妥当性のある価格を提示

し、納得できれば丸く収まる。撤去費用を試算した大阪航空局が持ってきたのが8億円だったのでそれを鑑定評価額から引いたというだけなんです」

「安倍さんや鴻池さんから声が掛かっていたら売るのはやめていると思います。あの人らに言われて減額するようなことは一切ないです」

「少しでも野党から突っ込まれるようなことを消したいということでやりました。改竄なんか、やる必要もなかったし、やるべきではありません。ただ追い詰められた状況の中で少しでも作業量を減らすためにやりました。何か付度（そんたく）みたいなのがあるみたいなことで消すのであれば、僕は絶対に消さないです」

そこには部下の自殺に対する悔恨（かいこん）の言葉が並んでいた。この上司は籠池夫妻と直接話し合った当事者で「とんでもないことを言うな。学校建設は中止。訴訟する」「新たに地中からダイオキシンが出たという情報もある。とんでもない土地だと踏まえて金額を出せ」と夫妻にくり返し迫られていた。いかに追い詰められていたか想像できる。

国会で野党が安倍晋三首相や佐川宣寿理財局長を糾弾し、同時に公開ヒアリングと称して官僚がつるし上げられていたことを思い出してほしい。平成30年3月5日、福島瑞穂氏（社民）、森裕子氏（自由）ら野党は近畿財務局に乗り込み、

数時間も居座り、押し問答を続けた。また東京では翌6日、民進党の **B** 、 **A** 両氏が財務省に乗り込み、約1時間、職員をつるし上げている。当該職員の自殺はその翌日の7日だった。

だが今回の上司の言葉を朝日、毎日など森友糾弾の急先鋒（せんぼう）は〈特定の政治家に配慮して減額したわけではないと言いつつ、契約について繰り返し悔いを口にした〉（朝日・10月17日付社説）〈動機と経緯が明らかにならない限り、改ざん問題は終わらない〉（毎日・19日付社説）と報じた。改竄理由が野党にあったと吐露（とろ）した部分は完全カット。つまり事実とは真逆。読者が呆（あき）れて去っていく筈（はず）である。」

以 上

謝 罪 広 告 目 録

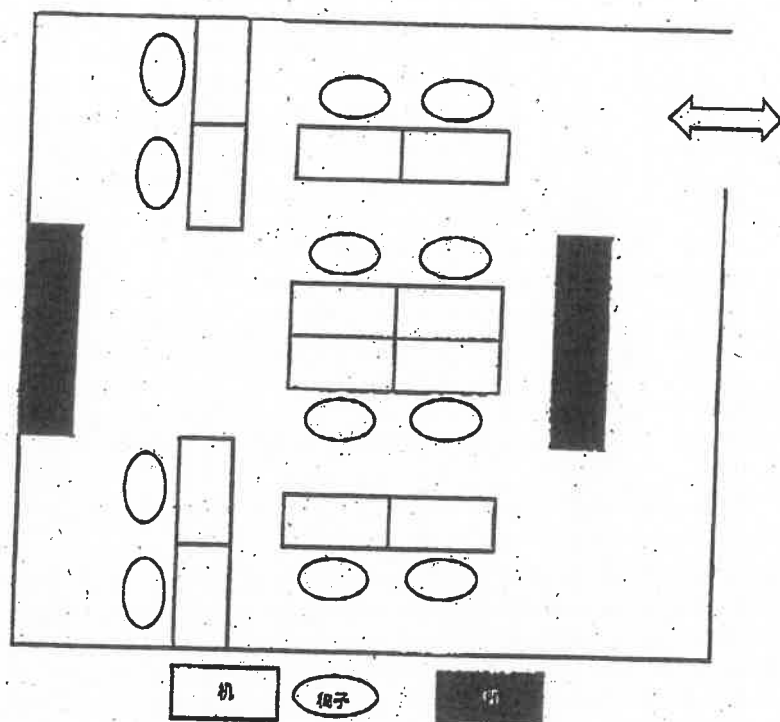
—お詫び—

本アカウントは、令和2年10月25日午前7時57分のツイートにて、令和2年10月5日朝刊の産経新聞に掲載された「【新聞に喝！】事実とは“真逆”の報道」と題する記事（門田隆将こと門脇護氏・寄稿）を引用した上、「近財職員は **B** や **A** が1時間吊るしあげた翌日に自殺」とツイートしました。

上記ツイートは、評価額を大きく下回る価格で国有地を学校法人森友学園に払い下げた、いわゆる森友問題に言及するものでしたが、同ツイートには、「近在職員は **B** や **A** が1時間吊しあげた翌日に自殺」と記載しましたが、参議院議員 **A** 氏及び参議院議員 **B** 氏は、近畿財務局や近畿財務局に勤めていた上記職員に直接説明を求めたり面談を求めたりした事実はなく、事実ではありませんでした。

ここに、**A** 氏及び **B** 氏の名誉と信用を失墜させたことについて、深く陳謝いたします。

(別紙3)



レイアウト図